

(別紙 1)

※記載いただく分量によって枠の大きさは自由に調整し、見やすく作成ください

※20ページを上限とします

事業計画書

1 事業名称

「いきいき！また食べたくなる常磐もの魅力発信事業」

2 課題解決のための事業コンセプト

本事業の目的である交流人口の増加や風評被害の払拭に向けて、本事業で発信、取り組む理由やターゲット、用いる手段や効果を具体的に記載してください。その際、単なる情報発信やイベント開催だけではなく、ターゲットの行動変容を促し、具体的な行動（購買・来訪）に至るまでのシナリオを考慮に入れて下さい。（文字数はそれぞれ200字以内）

交流人口増加や風評被害の払拭に向けて本事業に取り組む理由

2023年に福島第一原発の処理水が放出されて福島県産水産物に応援の機運が高まったが、県内の漁獲量は震災前を下回る状況が続いていて、漁業の復興は道半ばと考える。県内外の注目を一過性にせず、常磐ものの魅力をより多くの人々に届けることで、県産食材の風評払拭につなげたい。



事業の対象となるターゲット

福島県浜通りと比べると、常磐ものの流通が少ない中通りや会津、県外の消費者や魚離れが指摘される若い世代。



ターゲットに対してどんな事業を実施するのか

県内外の観光施設等で常磐ものの試食イベントを実施するほか、小中学校で出前授業を実施し、県内の水産物のおいしさや安全性を発信する。



事業で得られる効果

これまで常磐ものを口にする機会が少なかった層のファンが県内外で増えることによって、浜通りを訪れる人が増え、本格操業への機運の醸成や将来的な県内水産業の安定につながる。

今回の申請内容に最も近いものに1つ○をつけてください。

	① 1 2 市町村を中心とした福島県の伝統・文化・産業の認知度向上に向けた情報発信
	② 1 2 市町村を中心とした福島県の復興状況や先進的な取組等の認知度向上に向けた情報発信
	③ 1 2 市町村を中心とした福島県産品等の購買促進に向けた情報発信 (イベント・ツアー等の開催を含む)
	④ 1 2 市町村を中心とした福島県内の施設等への誘客促進に向けた情報発信 (イベント・ツアー等の開催を含む)
○	⑤ 1 2 市町村を中心とした福島県内の水産業等の振興に向けた情報発信 ※⑤については、いわき市、相馬市、新地町も対象 (イベント・ツアー等の開催を含む)
	⑥ その他、福島県の伝統・魅力等の発信に資する取組

3 取り組もうとする事業と過去実績との関係

以下、どちらかにチェックを入れてください。

本申請は、

- ☒ 過去実績がない、もしくは過去実績とは関係のない「新規事業」である
☐ 過去に本補助金を活用した「継続事業」である

過去に本事業を活用して取り組んだ実績は下記に記載ください。(実績がない場合は記載なし)

実績には下記を含む

①申請者が同じで事業内容が変更されたケース

②事業内容が同じで申請者や社名・団体名が変更されたケース、等

年度	事業内容
平成28年度	
平成29年度	
平成30年度	
令和元年度	
令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	
令和5年度	
令和6年度	
令和7年度	

以下、実績がある申請者のみ記入

【過去実績の振り返りと自走に向けての課題・改善点】

--

【今年度の事業実施に際し、過去の事業概要書等で記載した自走への計画を変更する場合その理由】

--

4 事業の概要 ※複数の施策を実施する場合は、【個別施策①】と同様の枠を追加して下さい。

【個別施策①】

施策の名称	旅行先で旬を体感！常磐ものPRイベント
施策の時期	10月、11月
実施回数・日数等	2回（各月1回ずつ）
施策の場所	道の駅〇〇（会津・〇〇市）、〇〇サービスエリア（中通り・〇〇市）

施策の目的と内容

【目的】

福島県の風評払拭や漁業の活性化に向けて、将来的に県内の漁業が本格操業となり、漁獲量が増えたときに、水産物が売れることが必要だと考えます。そのため、県内の広い地域で常磐ものの魅力を知ってもらい、消費者が安定して購入したいと思えるように、常磐ものの旬の味をPRしたいと考えます。

【内容】

県内外の旅行者等が立ち寄る道の駅やサービスエリアで常磐ものの試食イベントを実施します。福島県を代表するヒラメ等が乗った海鮮丼やメヒカリのから揚げを提供するとともに、漁師をはじめとする水産関係者と来場者がコミュニケーションをとれる場所にしたいと思います。



施策の対象とするターゲットと根拠

風評の払拭には常磐もののおいしさや安全性を広く知ってもらうことが大切と考えるため、道の駅やサービスエリアを利用する、県内の中通りや会津、県外の消費者をメインターゲットとします。

目標（上記で記載したターゲットの定量・定性的変化を含む）

交流人口3000人増加

KPI（上記目標達成のための日々の行動や評価基準）

※ KPI とは目標に対する活動の達成度合いを評価するための指標であり、目標そのものでないことに注意し、記載のこと。

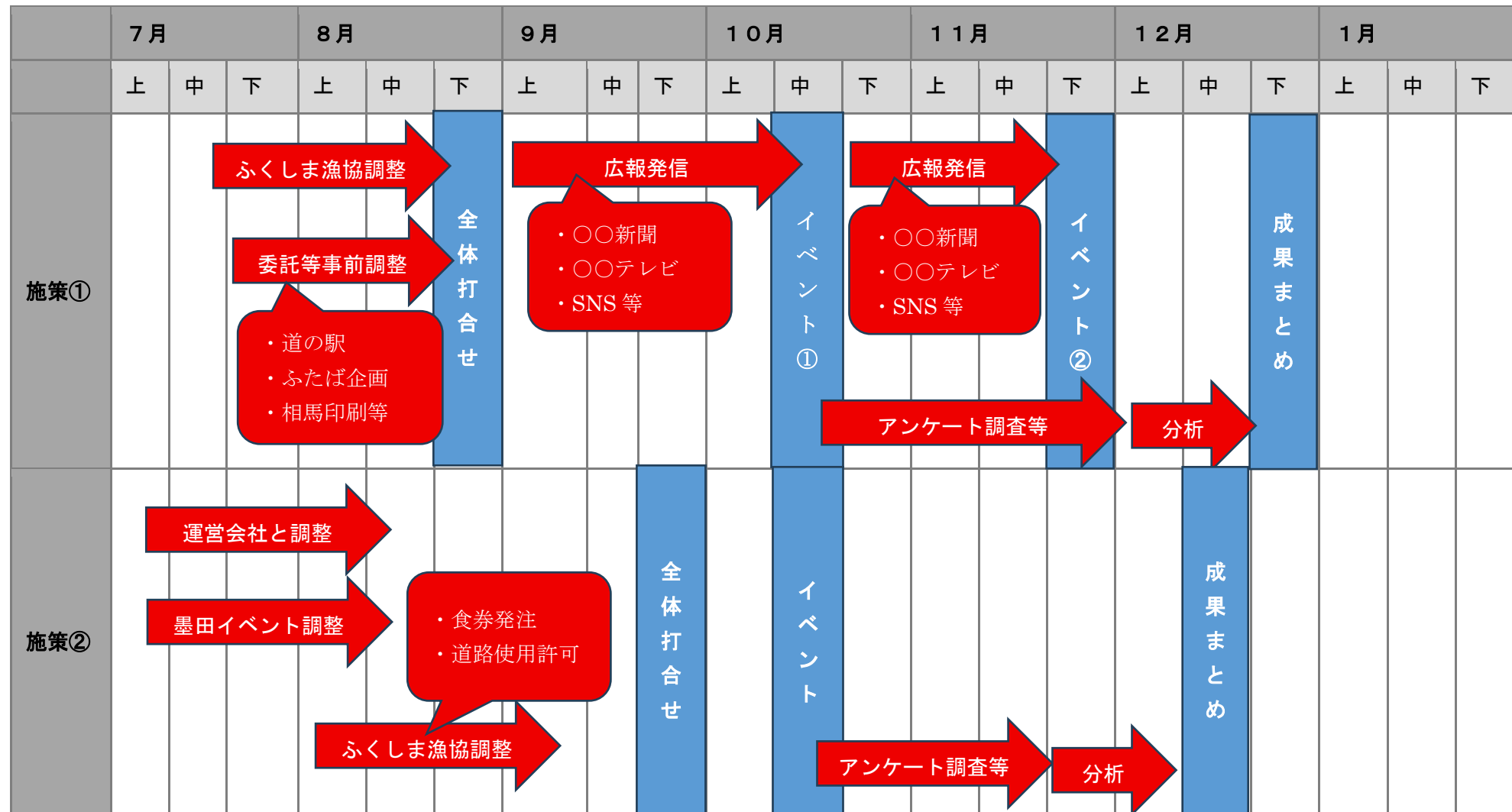
イベント告知。交付後イベント前まで逐一20回。3回のイベントを通して、福島の交流人口増加を目指すために、記者会見やプレスリリース、新聞広告、自社公式アカウント上での動画告知等を実施したいと考えます。

地域広域連携や独創性等アピールポイント

漁業関係者と消費者がつながることで「顔」が見えるようにします。生産者への親近感が芽生え、購買意欲につながると考えます。

5 事業実施スケジュール

記載例 （※）別ファイル（パワーポイント等）で作成し、貼り付けることも可。



6 アンケート項目の設定

申請事業の短期アウトカム（目標や目的に対して事業等によって生じた最終的な結果や影響）を具体的に計測するため、事業終了後に実施イベント等における参加人数を事務局に報告することを必須とします。

下記（ア）～（ウ）の趣旨の質問を全ての事業者に通ずる項目として、これらに追加する形で各々事業内容に沿った質問項目を設定いただきます。申請事業の効果を分析するために必要なアンケート設問案を多くても2問程度記載してください。なお、アンケート回答者の属性（年代、性別、居住エリア等）は別途設定しますので、下記設問案には入れないでください。

※アンケートは事務局が採択事業者との協議を踏まえて作成し、別途配布するURLと二次元コードを活用いただけます。

※（ア）～（ウ）は質問趣旨を変えない範囲で表現ぶりを変える場合があります

☒ イベント等への参加人数を計測し事務局に報告します。

☒ アンケートを実施します。

※承諾する場合はチェックしてください。

アンケート内容	
（ア）	参加する前よりも、福島県（事業が実施された地域等）に対する興味が増えましたか？（共通） ☐ はい / ☐ いいえ
（イ）	福島県の風評について、参加する前よりも理解が深まりましたか？（共通） ☐ はい / ☐ いいえ
（ウ）	参加したことで、福島県（事業が実施された地域等）をまた訪れたいと思いますか？（共通） ☐ はい / ☐ いいえ
（エ）	
（オ）	
（カ）	

7 事業の展望について

今後の計画（メドとして3年間）と展望、自走化に向けた資金計画について記載してください。自走化が困難な事業はその理由を記載してください（自由記述）。

まずは、首都圏を中心に今回のイベントでつながった商業施設や飲食店などにセールスを展開することで、販売増の効果を継続する。イベントについては、補助金がない中で、今回のような大きなイベントは難しいが、ほかの水産加工業者と共同で出資するなどして、小規模でもこれに近いイベントを続けていきたい。

8 事業期間について

予定する事業期間を記載してください。

開始予定日 令和 8 年 6 月 30 日

補助事業完了予定日 令和 8 年 12 月 15 日

事業は原則として、令和9年1月29日までに終了してください。

事業期間設定にあたっては、以下項目に抵触しないか、確認をしてください。問題がなければ、チェック欄に○を付けてください。

確認欄	確認内容
☐	開始予定日は、事業の経費が発生する最も早い日になっています。 (例：購入予定日、発注予定日、契約予定日、予約日等)
☐	開始予定日は、令和8年6月15日以降になっています。 ※ 審査のため、公募締切から交付決定まで少なくとも3週間程度かかる予定です。申請件数、内容により、交付決定までにさらに時間を要する場合があります。 ※ 交付決定よりも前に、購入、発注、契約した経費は、補助金を受け取ることはできません（交付決定よりも前に見積もりを取得することは可能）

申請内容によっては、交付決定までに日を要する場合があります。

開始予定を1か月程度、後ろ倒しすることは可能ですか。

いずれかに、○をつけてください。

☐	可能です。
☐	難しいです。少なくとも、 月 日までに事業を開始する必要があります。 (事業に向けた購入、発注、契約を行う必要があるため)

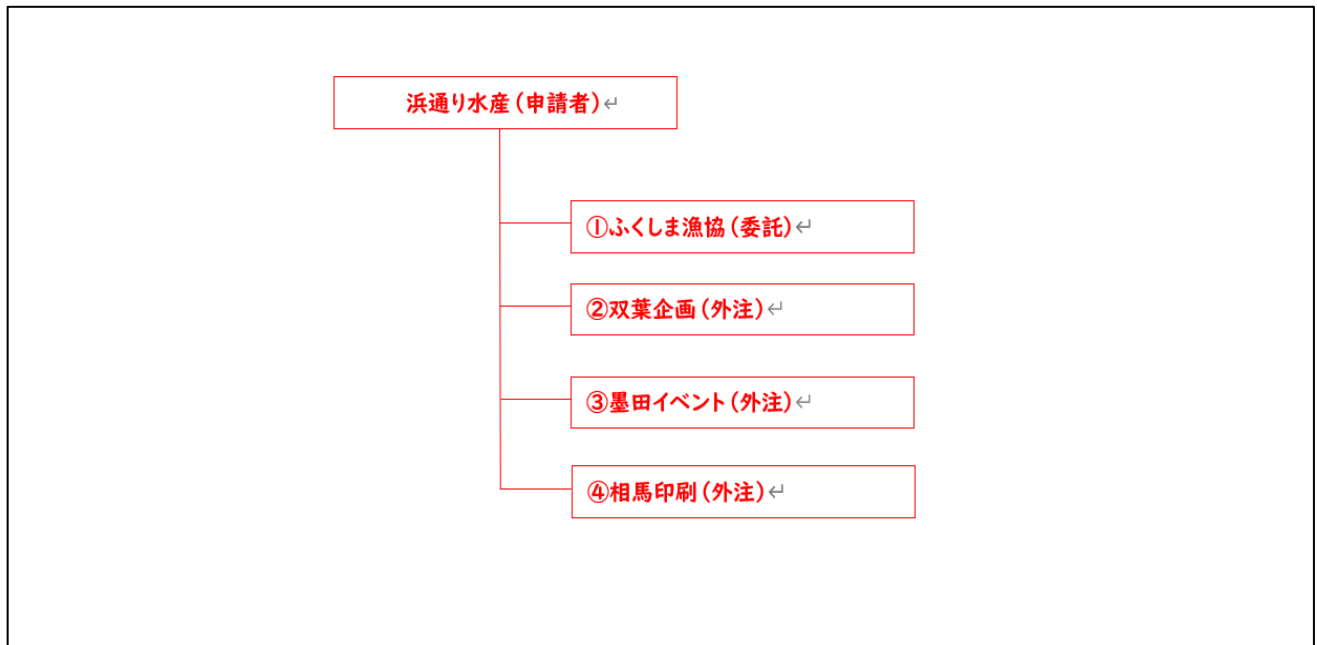
9 事業進捗に当たって不確定事項、懸念点等及び対応策

事業を進めるにあたって、現状、想定される不確定事項、懸念点等があれば記載してください。また、可能な範囲で、対応策を記載してください。

新型コロナウイルスのような感染症等が再びまん延した場合は、国のガイドラインに従って対応します。
試食等ができなくなる可能性があります。

10 事業実施体制（申請者の組織とそれ以外の事業者との関係）

本事業に関わる体制図を記載ください。発注先が確定していない場合でも、現段階で予定している発注先を記載してください。

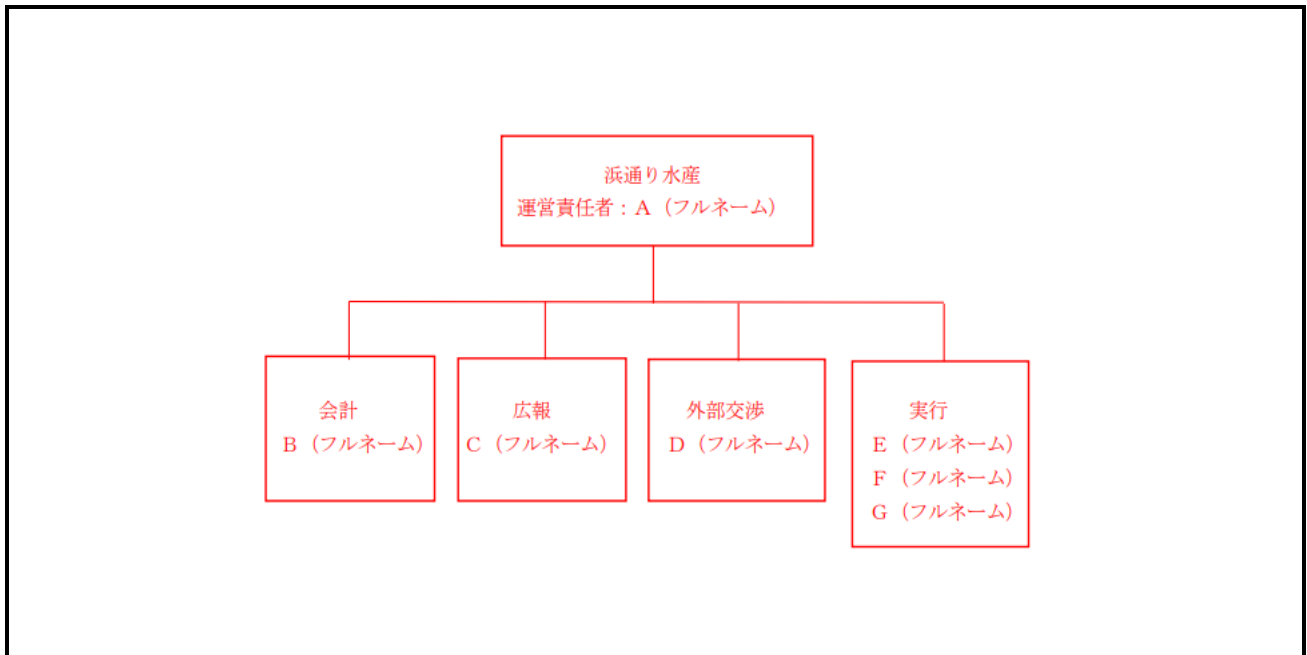


事業者名	申請者との関係	住所	契約金額（円） 税込金額	業務の範囲
①ふくしま漁協	委託先	福島県相馬市松川浦〇丁目	2,000,000	イベントでの料理提供とそれにかかる準備
②双葉企画	外注先	福島県南相馬市原町区本町〇丁目	1,000,000	道の駅、サービスエリアでの会場設営と撤去等
③墨田イベント	外注先	東京都墨田区押上〇丁目	1,000,000	都内イベントの会場設営と撤去等
④相馬印刷	外注先	福島県相馬市相馬〇丁目	500,000	チラシのデザイン、印刷

1 1 人員等実施体制（申請者の組織内の体制）

運営の責任者や会計、広報、外部との交渉担当等、実施体制について、具体的に記載してください。

※人員、体制は審査に関わりますので、正確に記載してください。



1 2 補助事業に関わる経費

【確認事項】以下の内容を確認した上で、○を付けてください。

確認欄	確認内容
☐	以下の経費には振込手数料が含まれません。
☐	以下の経費には消費税が含まれません。

◆経費一覧

区分	内容	金額（円・税抜）
補助事業に要する経費	本事業を実施するのに必要な「補助対象外経費」も含めた全体経費（消費税・振込手数料は除く）。	7,000,000
補助対象経費	「補助事業に要する経費」のうち補助対象経費に該当する経費の合計額。	5,000,000
補助対象外経費	「補助事業に要する経費」のうち補助対象外経費に該当する経費の合計額。	2,000,000
補助金交付申請額	「補助金交付申請額」のうち補助金の交付を希望する額（補助率の範囲内に限る）。	5,000,000
自己調達資金等	「補助事業に要する経費」のうち「補助金交付申請額」以外に該当する経費の合計額。	0
収入金	事業実施による売り上げ額（※利益額ではなく売り上げ額）	2,000,000

◆その他補助金

当該事業における他の補助金利用の有無をチェックしてください。

☒あり / ☐なし

補助金の利用がある場合、制度名と金額、ステータス（応募済み、採択済み、交付決定済み）を記載してください。

補助金の名称及び補助金の出元	金額	ステータス
福島浜通り復興再生補助金	1,000,000	応募済み

◆自己資金一覧

区分		金額（円・税抜）	補助金の制度名
	都道府県の補助金	1,000,000	
	市区町村の補助金	0	
	組合等又は団体等の資金	0	
	自己資金	6,000,000	
	借入金	0	
	合計	7,000,000	

◆収入一覧（事業実施による売り上げ金額）

収入内容	算出基礎	金額（円・税抜）
食券販売	道の駅 500,000 サービスエリア 500,000 都内会場 1,000,000	2,000,000
合計		2,000,000

◆最終交付見込み額

区分		金額（円・税抜）
①	補助事業に要する経費	7,000,000
②	補助金交付申請額	5,000,000
③	収入金	2,000,000
④	最終交付見込額	3,000,000

13 提出書類の確認

【提出資料確認】

提出時に確認をお願いします。

	確認欄	書類
必須	☐	【01】申請書（本紙）【ワード＋PDF】
	☐	【02】事業計画書（別紙1）【ワード＋PDF】
	☐	【03】支出計画書（別紙2）【エクセル＋PDF】
	☐	【04】団体等概要および実施体制を示す資料【PDF】
	☐	【05】過去3年分の収支決算書（総会資料等で可）【PDF】
	☐	【06】団体等の定款、規約、会則等（総会資料等で可）【PDF】
	☐	【07】12市町村の立地を証明する書類（登記簿等）【PDF】
該当時	☐	（該当する場合）【08】非課税や免税事業者であることを証明する書類【PDF】

14 情報公開の承諾

本事業を活用した場合、以下の通り情報公開が求められ、承諾が必要です。

○をつけて承諾してください。

本補助金の申請及び事業の進捗やイベント等の成果、商材・サービスの情報など、事務局の求めに応じて情報を提供するとともに、事務局からの取材依頼等について可能な限り協力する。

☐	承諾します。
-----------------------	--------

15 広報やデザインの専門家派遣について

申請事業に取り組むうえで専門家の派遣を求めることができるので、希望がある場合は相談内容を記載してください。

相談内容